

「近畿管内道路メンテナンス会議」を開催

- 昨年度に引き続き、今回で3回目となる近畿管内道路メンテナンス会議を実施しました。
- メンテナンスに関する最新の情報等を7府県の道路管理者と情報共有を行いました。
- 入口での検温、ソーシャルディスタンスの確保等、新型コロナウイルス対策を徹底して開催しました。

【開催概要】

- 日時: 令和3年7月1日(木) 13:00~15:30
- 会場: 花博記念公園鶴見緑地 中央広場
- 出席者: (国土交通省)
道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 清水室長
(近畿地方整備局)
道路部 小林道路部長、大坪道路保全企画官、他
(府県道路メンテナンス会議 構成員)
各府県メンテナンス会議
各府県構成員: 99名 (6府県・54市町村)
(一般傍聴者): 117名

- 内容
- 基調講演 「道路の老朽化対策に関する最近の動向について」
- 近畿道路メンテナンスセンターによる自治体支援について
- 点検支援技術性能カタログのデモ及びプレゼンテーション

■ 会場の様子



ソーシャルディスタンス確保のため、来場者は前後左右1mの距離を開けて着席。



『主催者挨拶』 近畿地方整備局 小林道路部長
『基調講演』 道路メンテナンス企画室 清水室長
近畿道路メンテナンスセンター 細井センター長

■ 点検支援技術性能カタログのデモ及びプレゼンテーション



○点検支援技術性能カタログ等の事例紹介を7業者より発表頂きました
【参考】

- 株式会社デンソー、夢想科学株式会社、株式会社IHIインフラシステム、西松建設株式会社、西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社、ニチレキ株式会社、東急建設株式会社